

事務事業評価シート(平成25年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当係長名
55321	美術館運営事業	教育委員会	美術館係	百瀬辰夫	赤羽義洋
		一次評価年月日	平成 26 年 6 月 13 日	連絡先(内線)	43-0753
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		予算コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1065	美術館管理運営事業	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	1066	美術館特別展事業		
	第五次総合計画前期基本計画の 施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり
		節	(コード選択)	5節	地域文化の保護と育成
		項[基本施策]	(コード選択)	3項	文化芸術活動の振興
目[主な施策]		(コード選択)	2目	文化芸術活動の促進	
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第五次行政改革大綱	<input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input checked="" type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(誰のために).....この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町内外の住民全般

②目的(意図)(どんな状態にしたいか).....この事業を実施することにより、対象をどういう状態にしたいのですか。

人々が身近に美術と出会い、親しむとともに、感性を磨き、創造的な広い視野を身につけ、生きる力を見出す

③手段(事業内容)(どうやって).....上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、実施した行政活動(対象に対する働きかけ)を記入します。

1	収蔵品や地域の文化資源を活用した展示や制作機会を提供するとともに、住民が参加・参画した活動や、館と連携した事業を推進する
2	館のミッション(任務)に基づいて作品の収集と保存、修復を進め、コレクションの充実を図る
3	住民が利用しやすい施設整備を進める
4	

(3) 活動指標の設定と推移.....(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。 [Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27年度	年度(見込み)	
①	指標名	展示やワークショップの開催数		17	16	15	1.07	15
	説明	住民が参加・参画した活動や、館と連携した事業を推進する		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 継続的な開催が有効				
②	指標名	新収蔵品のと修復作品の点数		7	8	10	0.80	10
	説明	新たな作品の収集、保存・修復を進める		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 計画的、継続的に進めていく必要がある				

(4) 成果指標の設定と推移.....(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。 [Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		24年度	25年度	27年度(見込み)	達成率	27年度	年度(見込み)	
①	指標名	住民参加・参画、連携の割合		—	83	85	0.98	85
	説明	全体の開催数に対する割合		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 満足度の高い開催を維持する				
②	指標名	来場者の満足度		82	96	90	1.07	90
	説明	アンケート等による来場者の満足度調査		算出方法・計算式・目標値設定の考え方等 満足度の向上を目指す				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

項目	単位	平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度			
		決算		見込み		決算		見込み		決算		見込み		見込み			
○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	32,714		20,064		49,269		35,598									
対前年比	%	/		61.3		245.6		72.3									
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	2,595		1,465		4,583		1,900									
B) 一般財源(税金)	(千円)	30,119		18,599		44,686		33,698									
①事業費	(千円)	23,369		10,220		38,050		24,481									
対前年比	%	/		43.7		372.3		64.3									
②人件費の概算	(千円)	9,345		9,844		11,219		11,117									
対前年比	%	/		105.3		114		99.1									
		年間人件費		年間人件費		年間人件費		年間人件費									
		/		/		/		/									
町職員(正規職員)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算シート)						1.00	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00	8,149	7,960	8,039	8,033
								1,196	1,884	3,180	3,084						

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果	
妥当性	1. 事業に対する町民のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある C 減少傾向にある	B 変化していない D かなり減少している 住民ニーズの具体的な把握方法をお書きください 来場者・参加者アンケート、美術館協議会
	2. 国・県・民間との役割分担から、町が事業を実施する必要がありますか	A	A 町が主体となる必要がある C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる	B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 D 必要性がない
	3. 対象(受益者)の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある	Bの場合、その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
効率性	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 町公民館、図書館、文化財保護、福祉施設、小中学校、地元短大、地元商店街、住民団体などとの連携事業や活動
	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり	C・Dの場合、その具体的な内容をお書きください
その他	9. 民間企業・住民団体との協働の可能性	A	A すでに実施している B 可能 C 困難 D 検討中	A・Bの場合、その具体的な内容をお書きください 信州豊南短大、日本福祉大学、辰野いきものネットワーク、(社福)サンアップル、(NPO)あかり、辰野えびす講実行委員会、パークホテル、湯にいくセンター

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	26年度予算見積書への反映 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
今後も、住民参加の展示会やワークショップ、住民団体との連携による事業などを開催し、身近な美術館に向けた参加度や連携性の向上を図るとともに、冬期休館中も短期の展示会を実施し、施設の活用と住民の満足度向上に努める。 住民の創造的な利活用のための収蔵品の充実と、利用しやすい施設整備を継続する。	〔反映内容〕 特別展、企画展、ワークショップ、コンサート等の開催 収蔵品の修復、トイレのバリアフリー・多目的化改修

(8) 第五次総合計画における事務事業の達成度(H25年度末現在)

B	A(4) 計画の目標を達成した。または、計画の目標をほぼ達成し、今後は継続していく。 B(3) 計画の目標達成に向け、順調に推移している。または、一部改善の後、事業を継続する。 C(2) 計画に取り組み始めたばかりである。または、事業の内容について検討をする必要がある。 D(1) 計画の実施には着手できなかった。 ※具体的な実施内容をお書きください
	多様な視点での自主企画展の開催(里山の写真展、障がい者等の作品展) 地域の大学や町内小中学校と連携した講座やワークショップ、展示会等の開催 収蔵作品の修復とエレベーターの新設

(9) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。 <input type="checkbox"/> をチェック
体の不自由な方にも利用しやすい美術館にするため、エレベーターの設置を行った。また、安全安心な美術館になるよう耐震補強工事を実施した。住民が利用しやすい、満足のいく美術館を目指すために更に創意工夫を重ねる。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし <input type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

上記 a~e を選択